

認知症初期集中支援推進事業の活性化に向けた取り組み

【現状と課題】

- ケースを挙げる地域包括支援センターからは、事業への期待がある一方で活用に至らないといった現状が続いている。
- チーム間で活動内容に違いがあり、チームの活動の平準化が必要。

【活性化に向けた取組内容】

目標：地域包括支援センター、居宅介護支援事業所からのチームへの相談件数を増やす

1. チーム活動の平準化

- (1) 相談を受けてから15日以内に初回訪問を実施（※特別なケースは除く）
⇒ 初動を早め、早期の支援につなげる
- (2) チームの情報交換会の定例開催
⇒ チーム間の情報共有により、支援内容やチーム運営の向上を図る
- (3) 研修会の実施
⇒ 好事例の横展開を行い、スキルの向上を図る

2. 地域包括支援センター等と事業の相互理解の促進

- (1) 各チームが地域包括支援センターと意見交換会を実施する
⇒ 地域包括支援センターとの情報共有を行い、連帯感の深化を図る
- (2) 全居宅介護支援事業所等への事業の再周知
⇒ 居宅介護支援事業との事業理解を進め、事業の活用につなげる

【具体的なスケジュール】 ※○：市主催、◆：チーム主催（市協力）

		1. チーム活動の平準化	2. 包括等との事業の相互理解の促進
R 3	12月	○情報交換会（12/18） ・活動の改善に向けて	○包括業務説明会での説明（3/24） ・活性化に向けた取り組みについて
	1月		
	2月	○情報交換会（2/18） ・今後の計画について ・活動マニュアルの遵守 (チーム員会議、初動、書類の簡素化)	
	3月	・事例紹介	
R 4	4月		◆チームと包括との意見交換 ・チームの役割、求めることなど、相互の要望 ・チームの特徴 (相談するケースの具体化) ・地域資源の情報交換
	5月	○情報交換会（5月） ・包括との意見交換会の進行について ・居宅等への事業の再周知について	
	6月		
	7月		
	8月	○情報交換会（8月） ・包括と意見交換実施後の対応	
	9月	○研修会（9月） ・市外の好事例を学ぶ	
	10月		
	11月		
	12月	○情報交換会（12月） ・マニュアル変更の確認など	
	1月		
	2月		
	3月		

活動マニュアルの改訂：活動手法の見直しをマニュアルに反映